

経鼻内視鏡検査に関する説明

使用スコープ：経鼻内視鏡（FUJIFILM EG-6400N）

経鼻内視鏡（鼻から入れる胃カメラ）検査は口からの胃カメラに比べて不快感（嘔吐反射）が少なく、検査中に会話もできるという利点がある検査です。検診・健康診断、観察、定期フォローアップ等や比較的軽度な症状の方に対する検査として適しています。細胞の採取（生検）が可能です。

検査の流れと注意点

- ① 前日 21 時以降は食事をとらないで下さい。＊午後検査は当日朝 7 時以降
- ② 水分は当日検査 2 時間前まで OK です。
- ③ 朝の内服薬は起床時に内服してください。＊午後検査は昼の内服は中止
＊血糖値を下げるお薬は飲まないでください。＊午後検査は内服可
- ④ 検査直前に消泡剤をコップ 1 杯飲んでいただきます
- ⑤ 鼻のむくみをとる薬を鼻に噴霧（塗布）し、使用するカメラと同じ細さのチューブを鼻に挿入して鼻腔を広げて検査の準備をします
- ⑥ それでも鼻腔が狭い場合には検査時に口からの挿入に変更する場合があります。鼻腔の手術を受けたことがある方や鼻粘膜腫瘍がある方も同様です
- ⑦ 検査後は鼻を強くかまないようにしてください。出血の原因となりえます
- ⑧ 鎮静剤の使用を希望される際には全例口からの挿入になります。
- ⑨ 検査の必要性や合併症、危険性等については同意書による説明と同意に準じ進めていきます。

その他ご不明な点はお気軽にスタッフまでお尋ねください。

にもり内科クリニック 院長 二森 浩行